



2026 年の主な収集資料



2026 年は40 cm を越える大型のアンモナイト2点を採集しました。それぞれ、一人でも運べる重さのものでした。右の標本は中野ボランティアが発見したのになります。

希少な種類ではないのですが、種内変異などを調べるにあたって、重要な資料になると期待されます。

2026 年に発見・採集した大型アンモナイト2点



左上の標本発見時の写真。右下の調査用ザック（深緑色）になんとか入ったので、持ち帰りました。

学芸員 西村智弘

2025 年度の主な クリーニング資料 (4)



ホッピーだより No. 491 で紹介したイノセラムス（二枚貝）のクリーニングが終了しました。この標本は、採集時の予察どおり日本からも産出しているイノセラムス・エルンストイ（*Inoceramus ernsti*）と呼ばれる種類です。日本産で 20 cm を越える標本としては、北海道小平町から産出している標本に次ぐ2標本目のものです。イノセラムス類の分類区分や系統進化を探るうえでも重要な資料といえます。

学芸員 西村智弘

新館 恐竜館の紹介（6）

「カムイサウルスが生きたアジア沿岸」



カムイサウルスの全身復元骨格（レプリカ）2体が展示されているスペースは「カムイサウルスが生きたアジア沿岸」という展示テーマとなっています。陸がテーマの展示なので、壁際には、カムイサウルスと共産した花粉化石や、穂別で採集された白亜紀末の植物化石も展示されています。

恐竜を左向き（顔の左側が見えるよう）に配置すると、展示が安定するように感じるため、当館のメインの展示であるこの2体は左向きに設置しました。縦構図の写真撮影をする場合は、正面から撮影すると良い写真が取れるようです。この場合は手前のカムイサウルスがやや右向きになります。

学芸員 西村智弘

穂別恐竜博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	一般 (高校生~)	小・中学生
一日券	600円	300円
年間券	1,500円	800円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2026年 11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2026年 12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日 町民無料観覧日

